



目次

巻頭言 教育と出版の伝統	1
特集 新規導入のデータベースの紹介について	3
特集 新たに指定された貴重資料	5
本との出会いを楽しむ <第5回>	6
図書館に関する話題 <第5回>	7
Library News	8
図書館のグループ紹介	10
弘前大学出版会より新刊紹介	10
本学教員等著作寄贈図書・資料一覧	11

教育と出版の伝統



附属図書館長 長谷川 成一

新入生諸君、入学おめでとう。皆さんが、これから4年ないし6年間、勉学に励むことになる弘前の地について、私の専門(日本近世史)に関わる観点から、同市の文化・教育の基礎は、藩政時代に築かれたことを述べたいと思います。

弘前市は文化の薫り高い都市であると、よく言われます。それは、国指定・登録・選択・選定文化財が44件、重要美術品認定文化財が1件、青森県の指定文化財(県重宝を含む)が54件、弘前市指定文化財が141件、合計240件の文化財(『弘前の文化財』弘前市教育委員会 2010年)を持つ都市であることが大いに影響しているのは間違いありません。これほど豊かな文化財に恵まれている都市は、同規模の都市では稀な存在といえるでしょう。

それだけではありません。皆さんは、約200年前に総合大学とも呼べるような高等教育機関が弘前市にあったことをご存じでしょうか。

江戸時代、各藩では藩士とその子弟を教育するために藩直営の学校(藩校・藩学と称します)を設立しました。特に18世紀から19世紀にかけて、数多くの藩

校が創設されました。弘前藩では、寛政8年(1796)、藩校「稽古館」を弘前城追手門外東南、現在の追手門広場一帯に建設。校名は、『堯典』冒頭の「ここに古(いにしえ)の帝堯を稽(かんが)うるに」から命名されました。同年7月9日には、入学式を執り行い、約300名が入学しました。校舎は東西対称の平屋建てで、西に14歳以下の生徒が学ぶ養正堂、東に15歳以上が学ぶ志学堂が配されました(図1参照)。学問のレベルが向上すると、博習堂・審問堂・広業堂・成器堂と進みました。

稽古館では、経学・兵学・天文暦学・紀伝学・法律学・数学・書学・医学・雅楽・武芸を教え、教授陣は、当時儒学者として高名な山崎蘭洲ら一流の学者を揃えました。後には、江戸幕府の官学である昌平黌(東京大学の前身)の学頭を務めた黒瀧藤太らも名を連ねています。人件費を除いた藩校の運営費3000石は、実に弘前藩の領知高の7パーセント強に相当しました。藩がいかに力を入れ、藩校教育に期待したか、窺うことができるでしょう。後年、稽古館を承継した東奥義塾からは、陸羯南など近代日本の政治・外交・文

化に貢献した多くの逸材を輩出しました。

稽古館では教育だけでなく、出版という文化事業を実施したことが特筆されます。館内に彫刻方において、「稽古館蔵版」の奥付を持つ書物を印刷刊行(木版と活字版の2種類)しました。それを稽古館本と称します(図2参照)。出版書目は、『四書』『礼記』などの中国の古典や、弘前藩と関わりの深い山鹿素行の『中朝事実』『聖教要録』、藩校教授であった山崎蘭洲の漢詩文集『蘭洲先生遺稿』(図3参照)などでした。加えて、同館では、幕府天文方の指導を受けて、寛政10年(1798)から明治3年(1870)まで独自の暦を作成・印刷し、流布させました。これを「稽古館暦」といいます。このように、稽古館では教育と出版を平行して行い、その活動は現在でも注目すべき業績として研

究が続けられています。

周知のように弘前大学は、地方所在の中規模総合大学として、60年にわたる教育と研究の歴史を刻んできました。2004年6月には遠藤正彦学長の提唱のもとに弘前大学出版会を設立して、出版事業にも乗り出し、現在では70冊を超える出版物を世に送り出しています。教育と出版、これはまさに藩校稽古館が、約200年前に全国へ名を馳せた事業でした。弘前における教育と文化活動は、脈々として、現在に受け継がれているのではないのでしょうか。

【参考文献】

- ・長谷川成一『日本歴史叢書63 弘前藩』(吉川弘文館 2004年)
- ・『新編弘前市史 資料編3』(弘前市 2000年)
(はせがわ せいいち)

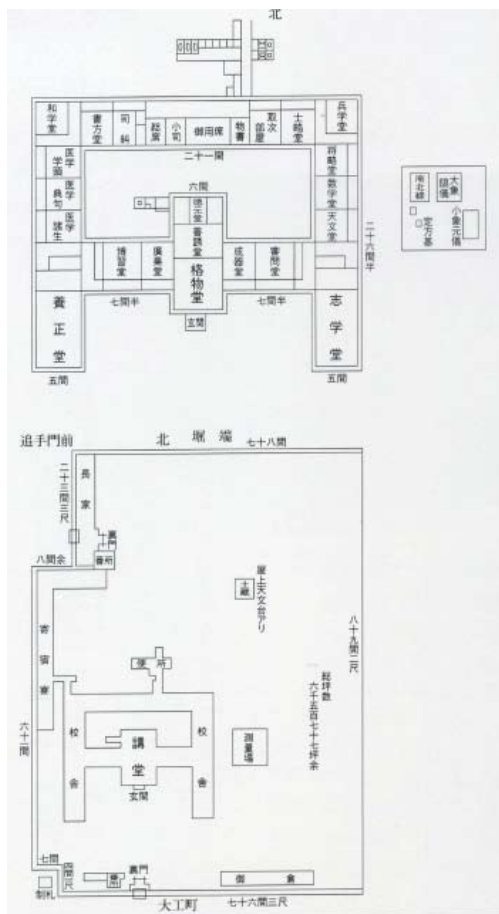


図1 稽古館の図
(『新編弘前市史 通史編3』
弘前市 2003年)



図2 稽古館本(弘前市立弘前図書館蔵)



図3 『蘭洲先生遺稿』と奥付
(弘前市立弘前図書館蔵)

特集

新規導入のデータベースの紹介について

雑誌情報担当 中田 晶子

今年度は大幅な予算措置を受け、電子ジャーナル約 8,000 誌、オンラインデータベース 9 件を整備しました。ここでは紙面の都合上、今年度に新規に導入したデータベースに絞ってご紹介します。そしてデータベースをより使いやすいものにするために導入したオンラインサービス「リンクリゾルバ」についてもご紹介します。

Web of Science / JCR: Journal Citation Reports

Web of Science はトムソン・ロイター社提供の引用索引検索データベースです。論文の引用関係を検索できるツールとして世界的に定評のある製品です。論文の引用関係を元にした自著論文の被引用数など研究評価の指標としても利用できます。本学では 1993 年以降から検索が可能です。Web of Science 収録のレコードを元に算出される指標が有名な Impact factor であり、JCR で検索することが出来ます。

Academic Search Premier@EBSCOhost

EBSCO 社提供の大学・学術機関向けの文献検索データベースです。多数の出版社のタイトル約 4,600 誌のフルテキストが収録されているため、検索結果からそのまま論文全文が利用できるのが特長です。ただし最新 1 年分の全文は基本的に利用できないようになっています。有名なものでは Nature Publishing Group のバックナンバーが収録されています。他にも MEDLINE, LISTA, GreenFILE データベースが同じ EBSCOhost 上から無料で提供されています。

ヨミダス歴史館


読売新聞社の新聞記事データベースです。明治 7(1884)年の創刊号から最新号まで 1000 万件以上の読売新聞記事が検索・閲覧できます。「大辞林」「エクシード英和辞典」「エクシード和英辞典」と「イミダス」の辞書検索や英字新聞「The Daily Yomiuri」の記事検索も可能です。朝日新聞社の新聞記事検索データベース「聞蔵 II ビジュアル」と併せてご利用下さい。同時アクセスユーザーは 1 人のため利用後は速やかにログアウトするようお願いいたします。

Westlaw Japan

トムソン・ロイターと新日本法規出版による合弁会社ウェストロー・ジャパンが提供する日本法総合データベースで、現行法令約 9,000、裁判例約 20 万件、『判例タイムズ』等の法律関連情報が検索できます。平成 21 年 5 月より裁判員制度が導入され、皆さんの中には裁判員として法廷や判決に立ち会う機会に遭遇する人がいるかもしれません。その時に備えてデータベースを使うことをお勧めします。

リンクリゾルバについて

今年度より SerialsSolutions (SS) 社のリンクリゾルバ「360LINK」を導入しました。リンクリゾルバと言うのはデータベースと OPAC や電子ジャーナルなど他のオンラインサービスを Web 上で仲介するサービスです。

リンクリゾルバを利用するには、データベースや電子ジャーナルの検索結果に表示される  アイコンや「Full-text Navigation」等の文字列をクリックします。現在、アイコンや文字列が表示されるデータベースは主なもので CiNii、医中誌 Web 版、Web of Science などがあります。クリックすると一旦 SS 社のサーバへリンクし、

リンクメニューが並んだ画面(中間窓)が表示されます。利用者は中間窓を利用して、フルテキストを入手するための様々なオンラインサービスへワンクリックで移動できます。これによりウィンドウやタブを別途に開いて検索をやり直していた手間が省け、文献の入手まで効率良く辿り着くことができるのがメリットです。

中間窓

論文書誌情報 書誌情報を修正して検索

論文タイトル 元和九年(一九二五)閏八月二十日の津報復讐会山定書状について

著者名 長谷川, 成一
雑誌名 弘前大学国史研究
ISSN: 0287-4318 発行日 2006
巻 120 号 0 ページ 41

フルテキスト(全文)は、以下の1-4のステップ順で探すと効率良く求められます。

- 1 電子ジャーナルへのリンク Full-text via Online**
 - 1956 - 2006 論文へのリンク 雑誌へのリンク CNii Complete
 - 11/01/1956 - 3 years ago 雑誌へのリンク Hiroaki University Repository for Academic Resources
- 2 無料公開のフルテキストをWebで探す Search Free Full-text via WWW.**
 - Google ArticleTitleで検索
 - Google Scholar ArticleTitleで検索
 - QAlater ArticleTitleで検索
 - JAIRO ArticleTitleで検索
 - Directory of Open Access Journals ArticleTitleで検索
- 3 電子体の所蔵を調べる Search Library Catalog**
 - OPAC ISSN検索 誌名検索
- 4 文献複写を依頼する Request this Article via ILL.**
 - ILL 申込
- 5 他のデータベースを探す Search Other Resources via WWW.**
 - PubMed ArticleTitleで検索
 - EBSCOhost 論文書誌情報で検索
 - Webcat Plus ISSN検索
 - Hiroaki University Repository for Academic Resources ArticleTitleで検索 著者名で検索 誌名で検索 ISSNで検索
- 6 Impact Factorを調べる Check Impact Factor**
 - Journal Citation Reports ISSN検索

Search for full-text journals at Hiroaki University:
Title contains all words 検索 クリア

電子ジャーナルへのリンク(赤囲み部分)

データベースの検索結果から中間窓へ移動すると同時に、本学で購読中の電子ジャーナル(CiNiiなどデータベースに収録されているフルテキストも含む)へのリンクが表示されます。論文単位でリンクができるため、同じタイトルでも収録範囲外や契約外の論文については「電子ジャーナルへのリンクはありませんでした」というエラー表示が出るようになっていました。しかしフルテキストが利用不可能なのに論文へのリンクが表示される不具合が時々ありますのでご注意ください。(Supplement 収録の論文や購読期間が不連続な場合は正確に反映されにくいようです。)

各データベースへのリンク(青囲み部分)

中間窓に掲載されている OPAC, Google Scholar や PubMed などへはリンクと同時に検索が実行されるようになっており、画面上部の「論文書誌情報」の部分に表示されている情報が検索キーとして受け渡されていきます。例えば、「論文書誌情報」の ISSN が空欄なのに「ISSN 検索」しようするとエラーになりますのでご注意ください。

(なかた あきこ)

データベース・電子ジャーナル講習会開催のお知らせ

附属図書館が整備導入している各種データベース・電子ジャーナルの講習会を開催します。講師はいずれも外部から招いた専門家ですので、分かりやすく実践的な講習内容です。この機会に是非ご参加下さい。開始時間等の詳細と最新情報は下記の附属図書館ホームページをご覧ください。

附属図書館ホームページ掲示板：<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/bulletin.html>

	日時	実施会場
Web of Science / JCR	6月2日(水)	文京地区・本町地区
聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞)・ヨミダス歴史館(読売新聞)	6月9日(水)	文京地区(参加人数50人まで)
Academic Search Premier	6月23日(水)	文京地区
Westlaw Japan	6月30日(水)	文京地区
サイエンス・ダイレクト	7月7日(水)	文京地区・本町地区

特集 新たに指定された貴重資料

「太宰治自筆ノート」について

附属図書館長 長谷川 成一

2009年9月、本学附属図書館では、小野正俊氏（著名な郷土文学研究家小野正文氏のご子息）から、英語と修身の「太宰治自筆ノート」2冊の寄贈を受けました。

内容は、昭和2年（1927）に官立弘前高等学校に入学した太宰（本名・津島修治）が、第1年次の英語と第2年次の修身の講義を書き留めた自筆の大学ノートです。英語のノートは、表紙に弘前高校の校章がすり込まれ、裏表紙に「今泉本店特製」との表記が見えるので、弘前高等学校生徒用に同本店で調製されたと推定されます。なかには、文学作品の現代語訳を記載しているので、第1年次の英語でも「読方読解」の授業の時のものでしょう。ノートは途中まで記された後、最後から天地逆に再び使用されており、途中、中断しています。講義の記録の他に、ノートには多くの落書きがあり、その大半は人物の肖像画と英語・日本語による自己の署名などです。

修身のノートは、今泉本店製ではなく、「神書店製」と表記。太宰が記録した講義の内容は、「吾人ノ国家

観及び吾国体」「国家ト個人ナラビニ愛国心」など4章から構成されており、微温的な国体論を展開しています。ノートは38ページまで使用されており、あとは白紙で、終わりの部分には7ページにわたる落書きが見えます。英語同様、表紙、裏表紙、表見返し、裏見返しにも落書きがあり、なかには自画像とおぼしき人物画も認められます。

本資料は、太宰治の自筆ノートという稀少性だけでなく、昭和初期の高等教育機関であった官立高等学校において、どのような教育がなされていたのかを研究する上でも貴重な価値を持ちます。また、当時の文部省の高等教育に関する方針や、現場の教員の思想、教育の姿勢などを考察するのに資する資料です。

ノートは、80年以上を経過していることから資料としての痛みが激しく、本館ではレプリカを作製して、2階の太宰文庫にある展示ケース、並びにサービスカウンターにて閲覧に供しています。是非、手にとってご覧下さい。（はせがわ せいいち）



寄贈者・小野正俊氏への感謝状贈呈式の様子
（2010年3月15日）



寄贈された太宰治の自筆ノート（手前）
と本館作成のレプリカ（奥）

本との出会いを楽しむ 第5回

ゲームとしての読書

大学院医学研究科 助教 二ノ倉 欣久



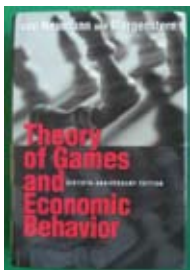
弘前大学のみなさまこんにちは。私は認知・判断や運動といった用語に代表される脳機能を細胞レベルでの実験的現象から理解することに興味を持ち、研究や教育に従事しております。器官としての脳の性質を考えますと、マクロな人間世界とマイクロな物質世界への両方への興味をもつことができれば都合が良いのですが、人間世界を特徴付ける「社会」を物質世界を理解するように「わかる」のはそう簡単なことではありません。ある現象の定量的な理解のためにはどうしても数理的な道具立てが必要ですが、このための有力な理論をまだ我々は十分整備していないからです。

よく知られた理論としてはノイマンのゲームの理論⁽¹⁾がありますが、ノイマンの理論を実際の現象に当てはめようとすると簡単ではないことがすぐに判りますから、誰でも二の足を踏みます。こうして私の脳研究と社会を接続する試みもある地点から先に前進しなくなりました。実験をするものにとっては観測した実際の現象をよく説明できない理論にはあまり意味がないように思えるからです。

ところが意外なところでノイマンの理論をうまく応用した具体例に遭遇しました。それはグライフ著『比較歴史制度分析』⁽²⁾で、個人的に強く印象に残っています。古くはヘロドトスの「歴史」に「慣習(習慣)こそ万物の王」と記載されるように、我々は合理的に行動するだけでなく慣習や制度によって一見不合理に見える行動を選択することがあります。では、一見不合理

に見える行動選択を可能にする誘因(インセンティブ)が社会の慣習や制度にどのようにして埋込まれ、保持されるのか?そして安定化したそれら誘因はどのように変化し慣習や制度に作用したか?といった挑戦的な疑問(戦略的行動形成の理論)に対して、新規に発掘された書庫の中世後期の地中海世界の膨大な商取引およびその関連記録から抽出された記録を、ノイマンモデルに依拠して数理的に解析することで部分的に解答を与えようという野心的な試みが本書の主題となっています。定量化しやすい商取引資料が大量に発見されたという前提があるとはいえ、そこでは発掘された一次資料(データ)をつぶさに観察することで仮説を立て、仮説をもとにモデルを構築し、モデルとデータとの間の齟齬からモデルを修正し新たな仮説を提起という一連の科学的手続きがあり、人間集団(社会)の振る舞いを規定する慣習や制度の生成過程の一端をかいまみることができます。

本書は歴史書ではあると同時に科学書としても成立しているところがおもしろいところで、理科系文科系どちらの学生の方にもどこかに興味を持てる場所があるのではないのでしょうか?(1)を読み通すのが困難であれば(2)の巻末に数理的背景の説明もあります。私個人としては一見無関係に見える分野であっても主要な争点にはしばしば共通点がみられ、それらを連結することで新しい学問が生まれる過程を確認する得難い読書体験でした。(このくら よしひさ)



(1) Neumann JV & Morgenstern O.
"Theory of Games and Economic Behavior"
(Princeton Univ. Press, 2004)



(2) アブナー・グライフ著
『比較歴史制度分析』
(NTT出版, 2009年)

二ノ倉先生にご紹介いただいた(1)の和訳本『ゲームの理論と経済行動』(5分冊)を本館で所蔵しています。
所在: 本館旧書庫3~5層 請求記号: 331.1/N67/1 図書ID: 90645100 他

図書館に関する話題 第5回 文系図書購入

文系図書の紹介 「BBCシェイクスピア全集」について

人文学部教授 田中 一隆

平成21年度附属図書館文系図書予算によって整備された『BBCシェイクスピア全集』について、紹介を兼ねた文章を書くように依頼されました。シェイクスピア劇の上演の歴史にも触れながら、『BBCシェイクスピア全集』の特徴と意義について述べることによって、筆者に与えられた責任を果たしたいと思います。

英国ルネサンス演劇の研究者である筆者にとって、シェイクスピア劇は何よりもまず印刷された活字の形で存在しています。それは、活字の方が、言葉や構文の細部の検討がはるかに楽だからです。しかし、シェイクスピアの劇はもともと活字で存在したものではありませんでした。活字による『シェイクスピア全集』が出版されたのは、作者の死後7年後のことでした。シェイクスピアの劇は舞台の上で上演されたものであり、したがってそれは、舞台と舞台上の役者の台詞として存在していたのです。活字と舞台の間を埋める作業は、今でも英国ルネサンス演劇研究の難問の一つです。

もちろん、シェイクスピアはいまから四百年以上も前の作家ですから、シェイクスピアの劇が当時の上演そのままに保存されているわけではありません。シェイクスピアの劇が主に上演された「グローブ座」も、(いままでこそ「シェイクスピア・グローブ座」として、テムズ川の南岸に再建されていますが) 1613年、『ヘンリー八世』上演中に、国王入場を知らせる砲撃の効果音に起因する火災が原因で、灰燼^{かいじん}に帰してしまいました。「グローブ座」はその後再建されますが、ピューリタン革命の時に、公衆劇場の弊害を攻撃し続けて来たピューリタンによって破壊され、1644年、この地上から永遠にその姿を消してしまいます。王政復古以降イギリスの公衆劇場が再開されると、シェイクスピアの劇も再び上演されるようになりますが、以後約一世紀半にわたってシェイクスピアの劇は、主に改作の形で上演されます。シェイクスピアの劇が原作に忠実に舞台上で上演され始めるのは19世紀に入ってからです。

映画技術の発明によってシェイクスピア劇も映画で

上演されるようになります。史上最初のシェイクスピア映画は1899年の『ジョン王』の映画化で、上演時間はたった4分ほど、原作には存在しない、ジョン王が大憲章に署名する場面があったそうです。映画によるシェイクスピア劇として画期的なのは、名優ロレンス・オリヴィエによる『ヘンリー五世』(1944年)、『ハムレット』(1948年)、『リチャード三世』(1955年)です。このシェイクスピア三部作では、当時最新の映画技術が駆使されています。とくに『ハムレット』はすでにシェイクスピア映画における古典の地位を獲得していて、筆者も教室で『ハムレット』を読むときには、(比較対象としてケネス・ブラナーの『ハムレット』(1996年)を観るときもありますが) 基本的にオリヴィエの『ハムレット』を併せて観ることにしています。

さて、前置きが長くなってしまいましたが、ここでいよいよ『BBCシェイクスピア全集』に登場してもらいましょう。まず強調しておきたいのは、シェイクスピア全集(37作品)を活字ではなく映像の形で表現する試みは、シェイクスピアの死後400年の間にほとんど試みられたことのない画期的なものだったということです。BBCが壮大な計画を立てたのは1975年、周到な準備を経て最初の作品が放送されたのが1978年、作品はシェイクスピア全集の中でもっともなじみ深い『ロミオとジュリエット』でした。興行的な成功もねらったBBCのしたたかさが窺えます。原作に限りなく忠実に、が創作の基本方針。テキストは定評のあるピーター・アレ



BBC シェイクスピア全集 全37巻
(写真は一部)

グザンダー版を採用、衣装や舞台背景なども可能な限りその時代の雰囲気伝えるものを使っています。『BBCシェイクスピア全集』は、1980年から87年まで、『NHKシェイクスピア劇場』として日本でも放送されましたので、ご記憶の方も多いのではないかと思えます。このころはビデオ(ベーターとVHS)が出始めた頃で、筆者の身近にも、『NHKシェイクスピア劇場』を記録するためにビデオを購入したという人が何人もいまし



(左上から)『ハムレット』『オセロー』『夏の夜の夢』『十二夜』『ジュリアス・シーザー』『冬物語』

た。それから約20年後、わたしたちは、今度はDVDの形で、『BBCシェイクスピア全集』を観ることができるようになりました。シェイクスピア劇がわずか4分間の映画で表現された時から一世紀以上の歳月が流れ、その間映像技術は飛躍的な進歩を遂げ、DVDでは、日本語字幕(坪内逍遙の後、最初にシェイクスピア全集の日本語訳を完成させた、東京大学名誉教授小田島雄志氏が監修)、英語字幕の選択もできます。最新のデジタル・リマスタリングによるきわめて質の高い映像と音がわれわれを迎えてくれます。この画期的な『BBCシェイクスピア全集』が、弘前大学附属図書館で観られるようになりました。講義や講演のためであれば、一定期間貸し出しもしてくれます。『ハムレット』、『オセロー』、『夏の夜の夢』、『十二夜』、『ジュリアス・シーザー』、『冬物語』等、シェイクスピア劇の傑作を、ぜひお楽しみいただきたいと思えます。

(たなか かずたか)

田中先生にご紹介いただいた「BBC シェイクスピア全集」は本館3階視聴覚室で利用できます。

Library News

医学部分館貴重資料書庫「松木文庫」移転



松木文庫入口

弘前大学医学部名誉教授松木明知氏から寄贈された、ウィリアム・オスラーコレクション、医学古典叢書の復刻版、レオナルド・ダ・ヴィンチコレクション及びノーベル医学・生理学賞関連コレクションを中心とする、医学分野の貴重資料を所蔵する医学部分館貴重資料書庫「松木文庫」が、医学部臨床研究棟地下一階に移転しました。

新しい「松木文庫」には貴重資料を保存する書棚を始め、資料を公開展示するためのガラスケース、監視カメラや空調設備が整えられ、隣接する「機器展示室」と併せて医学関連の歴史的資料の保存及び情報発信の拠点としての役割が期待されます。

また、今回の移転に併せまして、来る6月29日(火)に、開設記念セミナー及び所蔵資料寄贈者である松木明知氏による講演会が行われる予定です。

(医学情報グループ 藤井真嗣)



ウィリアム・オスラーコレクション

入退館システムの紹介

平成22年3月にリニューアルした入退館システムについて、紹介します。

以前の入退館システムは平成11年3月に導入されたもので、老朽化のため様々な不具合が出てきていました。不具合の主なものは、入館ゲートの読み取り不良やロック解除の反応遅れ、退館ゲートの人感センサーの反応ミス、管理用パソコンのフリーズ等です。

今回やっと予算要求が認められ、新しい機器を入れることができました。退館ゲートについては、過去にゲートの開閉音がうるさいという苦情が来たことがあり、また、人が通っても感知しないことが多々ありましたので、今回自動から手動に変更しました。入館ゲートの方は手動から自動になりましたが、開閉音はそれほど大きくないので、総合すれば以前より静かになったと思います。

ゲートにはそれぞれ役割があります。入館ゲートの方は、利用証のバーコードを読み取り、利用登録済の方かどうかを判定しています。このデータはパソコンに蓄積され、入館統計を作成するのに使われます。退館ゲートの方は、図書の無断持ち出しを防止する機能があります。正規の貸出手続きをしていない図書をバッグ等に入れて出ようとすると、ブザーが鳴り、ゲートがロックされるようになっています。

新しくなったシステムにより、より快適に図書館をご利用いただけることを願っています。

(情報サービスグループ係長 齋藤香織)



新しい入退館ゲート

職員研修を実施

附属図書館では、夏季と冬季の2回、利用者サービスと職員のスキルアップを目的に職員研修を実施しています。

平成21年度の2回目の職員研修を2月26日に実施しました。今回の研修では、人文学部の嶋恵一准教授に



職員研修の様子

講師をお引き受けいただき、米国ミシガン大学に在学研究員として長期滞在された時に撮影されたスライドを使い、「アメリカ大学図書館の現状」と題した講演をしていただきました。講演では、ミシガン大学、テネシー大学マーティン校などの附属図書館の状況が紹介されました。吹き抜けのワンフロアーに300席以上の閲覧用平机が配置された開放的な閲覧スペースや飲食自由のアメニティスペースなどが紹介され、歴史文化の異なる米国の大学図書館とは言え、利用者サービスや将来の改修計画を考える上で大いに参考になる研修となりました。

(学術情報課長 酒井量基)

図書館のグループ紹介

情報サービスグループ

弘前大学附属図書館へようこそ。

弘前大学附属図書館は、文京町キャンパスに本館、本町キャンパスに医学部分館を有し、両館あわせておよそ80万冊の蔵書を所有する、大学には欠かせない施設です。今回は、本館で働く職員の中でも特に利用者に接することの多い「情報サービスグループ」についてご紹介します。

現在、情報サービスグループには全部で7名が所属しており、本館のゲートを通ってすぐのメインカウンターで働く「情報サービス担当」と奥に進んだところにある参考調査カウンターで働く「参考調査担当」に分かれて日々の業務を行っております。情報サービスグループの業務は多岐に渡り、利用者への本の貸し出しと返却、学内外からの資料の所蔵調査などのレファレンス、他の大学と本や文献をお互いに融通しあう相互利用、書庫などの蔵書点検、購入希望図書の受付など、毎日忙しく働いています。

そんな情報サービスグループが行っている業務の中には、利用者にもっと図書館を活用してもらうためのものもいくつかあります。その一つが図書館ガイダンスです。毎年、情報サービスグループでは、本館の利用方法の紹介を中心としたガイダンス(新1年生を対象として4月～6月に実施)と、資料の活用方法の紹介を中心としたガイダンス(3年生以上を対象にして、春期5～6月、秋期10月の2回実施)の2種類を行っ

ています。このガイダンスなどを通じて、情報サービスグループでは、より多くの方が図書館を利用してくれることと、利用者にとって図書館がさらに便利なものになることを目指しています。

「For Your Just」という言葉をTVのCMで耳にしました。当図書館もこの言葉のように、「利用者のあなたにとってちょうどいい」場所でありたいと思います。「困ったときの図書館」、「わからないことがあったら図書館」でも良いですし、「とりあえず、図書館」でも構いません。ぜひ、図書館へ足を運んでみてください。いつでも情報サービスグループのメンバーがカウンターであなただけを待っています。

(参考調査担当 安田昌史)

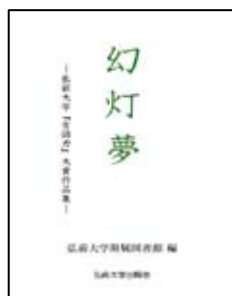


情報サービスグループのメンバー

弘前大学出版会より新刊紹介

「幻灯夢—弘前大学「言語力」大賞作品集—」

弘前大学附属図書館 編



平成17年に「文字・活字文化振興法」が公布・施行され、10月27日が「文字・活字文化の日」として制定された。これを記念し、弘前大学では、学生の言語力向上のために、4,000字程度の文学作品と評論を募集し「学生『言語力』大賞コンテスト」を毎年実施している。平成21年度は、数えて5回目の節目にあたり、これまでの大賞、優秀賞の作品11編を本書にまとめた。最近、若者の『言語力』不足がマスコミ等で論じられる中、太宰を生んだ学舎で作家に憧れる新鮮な学生たちの作品集である。

(発行:2010年3月24日/定価840円)

「教師のための紫外線講座～紫外線が子どもをわらう～」

弘前大学医学部附属病院 病院長 花田勝美

ある日突然気になるシワやシミ。元凶は太陽紫外線。皮膚がんや免疫の低下も招きます。子どもの時からの賢い紫外線対策が「転ばぬ先の杖」になります。本書には、「紫外線発見の話」、「光老化の機序」、「紫外線による皮膚病」、「紫外線防御」のエッセンスをコンパクトにまとめました。併せて、米国のサンワイズ・スクールプログラムを紹介しました。この一冊が、「教師」と「子ども達」をしっかり“サンワイズ”にしてくれます。(発行:2010年1月13日/定価1,470円)



「グローバル下の北東北地域～地域経済・財政・住民福祉の現状～」

神田健策 井上博夫 編著



本書は、北東北国立三大学(弘前大学、秋田大学、岩手大学)の教員9名による共同研究の成果である。2005年度～2006年度の「三大学連携推進研究プロジェクト」に採択された「北東北における自治体再編成と地域経済・地方財政・住民福祉に関する研究」を基礎に、北東北地域が抱える現状の問題と課題を学生講義用のテキストとして編集したものである。この間、三大学連携講義を開設し、本書の内容を教育に還元することもおこなってきた。

今日、わが国社会の特徴は、様々な格差が表面化したことにある。それは地域、住民、職業などあらゆる面であらわれ、特に北東北地域は大きな変貌の渦中にあった。本書で取り上げた時期は、小泉「構造改革」のただ中にあり、地域の経済と生活は大きな影響を受けてきた。本書は、これを中央に対置する北東北地域の側からとらえ、今日、周辺地域はいかなる問題をかかえているのかをえぐり出すとともに、地域再生の展望をも探ろうとするものである。(発行:2010年3月29日/定価2,415円)

「国立大学法人弘前大学 知的財産取扱いの手引き」

弘前大学知的財産本部・地域共同研究センター・学術情報部社会連携課編

我が国は、平成14年2月に知的財産の戦略的な保護・活用を国家の目標とすることとし、その後、様々な施策を展開してきた。本学でも、法人化を契機として、職務発明は、原則「個人帰属」から「機関帰属」とし、知財に関する啓発、管理、技術移転活動に取り組んでいる。本手引きは、イラスト・写真を多用し、「知的財産とは」、「本学の知的財産取扱いについて」、「出願に際しての留意点について」、「技術移転に向けた活動について」、「本学の知的財産取扱いの体制について」、付録「知的財産関連規程」の構成となっている。(発行:2010年3月29日/定価2,000円)



本学関係者の著作で、図書館に寄贈された図書と資料の一覧

平成21年10月～平成22年3月受贈分

学部名	寄贈者名	資料名	発行所
人文学部	長谷川 成一	藩領における植生景観の復元とその変容：近世津軽領を中心に (「弘前大学大学院地域研究科年報」第6号(2009年12月)の抜刷)	長谷川 成一
	植木 久行	佐藤子雀漢詩選	鷹城吟社
	松井 太	突厥語文学研究：耿世民教授八十華誕記念文集	中央民族大学出版社
	保田 宗良	地産地消の推進による地域の活性：調査レポート	弘前大学人文学部マーケティングセミナー
	人文学部附属 雇用政策研究 センター	若年者の就業状況と意識に関する調査研究報告書	弘前大学人文学部附属 雇用政策研究センター

学部名	寄贈者名	資料名	発行所
人文学部	人文学部附属 雇用政策研究 センター	都市に暮らす地方出身の若者の就業状況と地元意識に関する調査研究	弘前大学人文学部附属 雇用政策研究センター
教育学部	山本 欣司	樋口一葉：豊饒なる世界へ	和泉書院
	ラウシュ・ア ンソニー	Cultural commodities in Japanese rural revitalization : Tsugaru Nuri Lacquerware and Tsugaru Shamisen	Brill
医学研究科・附属病院		弘前大学大学院医学研究科・附属病院自己評価報告書 (CD-ROM) 2006年度-2007年度	弘前大学大学院医学研 究科・附属病院自己評 価委員会
保健学 研究科	宮越 順二	Health Effects of Cell Phone Radiation	Springer
	保健学研究科	緊急被ばく医療人材育成プロジェクト：平成20年度活動成果報告書	弘前大学大学院保健学 研究科
弘前大学 医学部 鵬桜会	弘前大学 医学部 鵬桜会	Yukshin Gardan Sarへ登頂から20年後の報告書	弘前大学医学部
		幻のRimo (リモ) 峰から Yukshin Gardan Sar (ユクシン・ガルドン・サル)へ：弘前大学がコロンビア遠征隊1984の記録	弘前大学出版会
		消防職員のためのトリアージ	東京法令出版
		ドクターヘリ導入と運用のガイドブック	行カクサイエンス社
		われらの日々：戦前・戦中の子どもたち	企画集団ぷりずむ
		医者と患者のカン違い：治る病気も治らない	ハート出版
		私的万葉集考 二	大橋正俊
		かくれ冷え症は万病のもと：あなたの身体も気づかないうちに冷えている!	文芸社
		教師のための紫外線講座：紫外線が子どもをねらう	弘前大学出版会
		診療に役立つ乳幼児の生理学	金原出版
		麻酔科学の源流	真興交易医書出版部
		中川五郎次とシベリア経由の牛痘種痘法	北海道出版企画センター
		津軽のやさしさを医療にも	悠飛社
		大鵬の群像：旧制弘前高等学校	歴史春秋出版
		津軽の文化誌	津軽書房
		淡交	野沢しの武
		アントーノフカ	未知谷
		八甲田雪中行軍遭難事件の謎は解明されたか	津軽書房
	三浦 行一	写真集「朔北の光と陰」	北方新社
	中山 博文	脳卒中になったその日から開く本	保健同人社
名誉教授	篠邊 三郎	流れ 2	篠邊三郎
	安野 眞幸	楽市論：初期信長の流通政策	法政大学出版局
元教授	祇園 全禄	社会認識形成の視点からみた福岡県地理教育実践史	海鳥社
附属図書館		『太宰治友情・愛・青春』生誕百周年スペシャル / 津島園子, 安藤 宏講演：弘前大学教育学部附属中学校演劇部朗読 (DVD 2枚組)	弘前大学附属図書館
		複製太宰治自筆ノット / 津島修治 [筆] 英語・修身	弘前大学附属図書館
弘前大学出版会		基礎物理学実験の手引き 平成21・22年度版	弘前大学出版会
		Voices from the snow : Tsugaru in legend, literature, and fact	弘前大学出版会
		教師のための紫外線講座：紫外線が子どもをねらう	弘前大学出版会
		幻灯夢：弘前大学『言語力』大賞作品集	弘前大学出版会
弘前大学生協同組合		弘前大学入学記念アルバム 平成21年度	弘前大学生協同組合



弘前大学附属図書館報「豊泉」第31号 発行日：平成22年5月31日

編集／弘前大学附属図書館広報委員会
発行／弘前大学附属図書館 〒036-8560 青森県弘前市文京町1
TEL 0172(39)3162 FAX 0172(39)3171 URL <http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>

標題の「豊泉」は、明治9年の「仏国学制」付録上巻中の「人智ヲ広ムルノ豊泉アリ」の文に基づき、
松原邦明名誉教授命名 題字：藤原楚水編「書道六體大字典」(三省堂)より